

## 自転車競技部 近畿大会トラックの部 大会報告

6月16日(土)・17日(日)

京都向日町競輪場にて近畿大会兼インターハイ予選トラックの部が開催されました。

出場4名 徳山(3年生)・井上, 伊藤, 大新(2年生)

チームスプリント決勝 出場選手 井上・伊藤・大新 最終成績 3位

1組目のホーム側からスタート。大阪予選の記録では近畿大会出場校の7番目の記録であったので、来年に向けて2年生だけでスタートしたまし。気楽に走れたのが良かったのか、インターハイ出場のための標準タイムか切ることができませんでしたが、3位入賞し銅メダルを獲得しました。

ケイリン1回戦 出場 井上

1回戦は、3位までが準決勝に進める予選レース。第2組で井上が出場したが、力および最下位となって、敗者復活戦に回りました。

スクラッチ予選 出場 伊藤

既にロードでのインターハイ出場を決めている伊藤が出場。7位までが決勝に進める予選2組で走り無理することなく3位で予選通過。

4km速度競走予選 出場 大新

各組5名が決勝に進出できる予選1組に出走した。優勝候補の京都の選手がレース序盤より1人で逃げに入ったので、無理に追いかけることを止めて予選通過のみに目標を定め、3位で予選通過

ケイリン敗者復活戦 出場 井上

7名で走り3名が敗者復活できるレース。先行できずに満足いくレース内容ではなかったが、2位で準決勝進出を決めた。

ケイリン準決勝

3位までが決勝へ、3位以下は7~12位決定戦にまわるレースの第2組で出走。残念ながらここでも積極的に前に出ることができずに最下位で7~12位決定戦へ

ポイントレース決勝 出場 徳山 最終成績 途中棄権

最初から非常に速い展開で、徳山はついていくのが精いっぱいの様子。この種目の近畿のレベルは高く、出場15名のうち7名が全国入賞を狙える選手が出場しているのでそのスピードは落ちることがない。徳山は集団の中で得点のチャンスを狙ったが、次第に集団のスピードについていくことができなくなり、レース後半に集団からおくれDNFとなった。

スクラッチ決勝 出場 伊藤 最終成績 11位

レース序盤から小さな仕掛けが頻発する展開で、伊藤は集団の前方で様子を見る作戦。レース後半に1人で逃げる選手が現れるも集団は容認し、レースは残り4周回(1.6km)をむかえ集団のスピードが上がると共に数名の飛び出しが確認できたが、伊藤は集団内で動けず。

残り2周、ここで伊藤は集団の外に出たが、後方に位置してしまい万事休す。インターハイ出場の7位入賞を狙って最後までペダルを踏むも11位に終わり、インターハイでは、ロードレースのみの出場となった。

4km速度競走決勝 出場 大新 最終成績 1位

レース開始早々に優勝候補の京都の選手が飛び出し、先頭責任を完了して集団へ。続いて兵庫県の選手が飛び出ししばらく逃げるも集団が追いつく。残り4周回になったところで大新が集団から飛び出し作戦通りに最後まで逃げ切るような走行を見せる。京都の有力選手はまだ様子見。大新が逃げをうつつなか、集団で3名が落車するアクシデントが発生し、京都の有力選手も落車した。大新の優勝の可能性が出てきたと思ったところで、奈良の選手が大新に追いついてきたが、先頭責任を完了していないその選手は大新の前を走るしかなく、大新は冷静に対応しゴール前で差し切って優勝！

近畿1位でインターハイ出場に花を添えた。

ケイリン7～12位決定戦 出場 井上 最終成績 11位

インターハイ出場のためには、ここで1位を取る必要があったが、抽選で最後尾の6番を引いてしまった。井上は今大会で始めて残り1周半のバック側から車をあげ、残り1周の鐘を聞きながらホームの直線で積極的に前に出て先行する。惜しくもバック側で抜かれるも作戦通りの積極的な走りができ今後に期待できる走りが最終レースで行えた。

学校対抗 トラックの部 8位 となりました。



ご声援ありがとうございました。